

ふくしま

第133号

令和4年2月1日発行

議会だより

発行：福島町議会
Tel 0139-47-2215

(題字：福島小学校2年生 にしざわ さく くん)

福島川に今年も白鳥飛来する

写真提供：福島フォトサークル



P 2 議会にタブレット端末を導入!!

… 定例会12月会議

P10 吉岡温泉建設に向けて木質バイオマスボイラー導入自治体を視察!!

… 常任委員会行政視察レポート

**P12 青年部・女性部（商工会・漁協）と懇談
現状と課題、議会への要望・参画について!!**

… 広報・公聴常任委員会レポート

ふくしま ふくしま ふくしま

福島小学校2年生 いいだ ゆうと くん

福島小学校2年生 ひらの べにか さん

福島小学校2年生 よしだ ひまり さん

端末を導入!!

向けて試行開始～



タブレット端末を活用し、議案の説明を受ける議員

定例会12月会議は、12月8日に開催しました。
会議では、条例の一部改正、計画の変更、各会計の補正予算など町長提出の議案13件と議会提出議案1件の合計14件を審議し、原案のとおり可決されました。
また、1件の報告を受けました。
参加者は2名でした。

条例の一部改正

○岩部地区交流センター管理条例の一部改正
指定管理者制度(※)導入による改正。

※指定管理者制度とは？
公的施設の管理権限を委任・代行させる制度のこと。

○国民健康保険条例の一部改正

令和12年度の全道市町村保険料率統一に向けた税率等の改正。

○特定教育・保育施設、特定地域型保育事業、特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正

国の基準・規則改正による条例改正。

○国民健康保険条例の一部改正

準用している国の施行令の改正により、出産育児一時金の額を改正。
(実際に支給される総額は変わりません。)

計画の変更

○第5次総合計画の変更

新型コロナウイルス感染症対応事業の追加等による変更。

変更後の総事業費は62億7,270万円。

新しく追加となった事業



冬のあったか応援給油券給付事業
5,900万円

公有水面埋立

○福島漁港特定漁港漁場整備事業に伴う公有水面の埋立

福島漁港内の岸壁拡張工事をするため埋立てを承認。

報告

○議会一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告

追跡調査4件に対応する方針等の報告。

定例会 12月会議

議会にタフレット ～ペーパーレス化に

補正予算

総合計画の変更などで補正した各会計の予算については、左記の表のとおりです。

単位：千円

会 計 名	補正額	補正後の 予算総額
一般会計（第6号）	138,074	4,486,436
国民健康保険特別会計（第3号）	11,745	804,447
介護保険特別会計（第2号）	3,954	558,235
後期高齢者医療特別会計（第2号）	4,265	76,284
浄化槽整備特別会計（第2号）	59	65,987
国民健康保険診療所特別会計（第3号）	7,240	98,377
水道事業会計（第3号）	1,526	244,164
合 計	166,863	6,333,930

議会提出の意見書

○地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書の提出

海水温上昇や赤潮による被害に対する支援等を求める意見書。

※意見書本文は、議会ホームページに「議会提出議案」として掲載しております。

文書質問

※文書質問とは？

町の一般事務について文書で質問を行うこと。

主体的・機動的な議員活動に資するため、いつでも、町長等に対し議長を経由して質問を行い、関連資料を請求することができます。

「寄贈された山林等の未来計画（利活用）は」

質問者：川村 明雄 議員

【質問】

現在、所有者不明の土地が九州の面積を超えているため、国は3年後に相続登記の義務化を図ることとしている。

近年、町に山林等を寄付する人が増加しておりますが、寄贈された森林資源の将来課題など総合的な未来計画について、町長の構想を伺います。

【回答】

「地域循環型の仕組みづくりに寄与できるよう適正に管理」

山林の寄付については、町有林に隣接しているものに限定しておりましたが、管理が行き届かない山林が増え、問題等を未然に防止する観点から町有財産として、町予算により整備したほうが良いと考え、山林の寄付を受け付けるよう方向転換しております。

町では、寄贈された山林を財産として伐採できるものについては、計画的に施業に着手し森林資源の循環に努めてまいります。整備されていない山林については、災害未然防止や山林荒廃の防止に繋がるよう管理してまいります。

今後の利活用については、流通に乗らない木材・林地残材などは木質チップに加工するなど、地域循環型の仕組みづくりに寄与できるよう適正に管理してまいります。

一般質問

4名の議員から4問の一般質問がありました。質問・答弁を抜粋・要約して掲載しました。

町の事業として婚活を

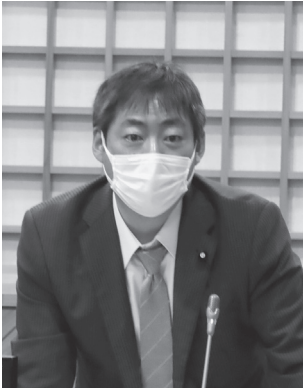
民間団体の自発的な開催を応援

【藤山 大議員】

全国的に少子高齢化社会が進んでおり、町においても、高齢化率が50%を超え限界集落の状況になっている。

町の事業として、若者への定住対策や子育て支援を行っており、子育てから定住までの取り組みはできているが、前段階の結婚に至るまでの対策が無いと思われる。他自治体では地域の婚活イベント・結婚相談サービス等を行って地域の活性化や少子化対策を行い他の自治体から人を集めている事例もある。

コロナ禍の中での婚活事業については、批判等もあると思うが、少子高齢化に歯止めをかけるためにも町長が先頭に立って音頭をとっていただきたいと思うが、いかがか。



藤山 大議員

【鳴海青春町長】

平成28年度に「福島町異業種交流実行委員会」を設立し交流の促進に努めたが、活動が低調なことから平成31年3月に実行委員会を解散したところであり、この様な組織の設立については、行政主導によらず民間団体の自発的な行動によることで継続性が確保されるものと考えています。

少子化対策として、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援が重要であると認識していますが、婚活イベント等については、こうしたニーズが町内にどれだけあるのか不明なことから、現状では町主催のイベントの開催は考えていないが、町内の民間団体が主体となって開催する場合は、町としても応援していきたいと考えております。

漁港の放置船対策は

定期的に実態調査し、道が対応

【小鹿昭義議員】

漁港内に放置船が目立っていると考えてるが、以下の点について伺う。

①町として、放置船の現状など実態調査を行っているのか。
②漁港船揚げ場における放置船がもたらす可能性がある支障事案として、

ア 災害時の2次災害
イ 漁業活動に対しての支障
ウ 火災、不法投棄の誘発等、周辺環境への悪影響・景観の悪化

エ 犯罪等に利用される恐れ
オ 放置することと同様の放置船が増える可能性

の5点が考えられるが対策は。③放置船の所有者が処分をする場合に、行政として処分費用等を軽減できる施策は検討できないか。
以上3点について伺う。



小鹿 昭義 議員

【鳴海青春町長】

町内にある漁港はいずれも北海道が管理し、町は漁港利用料の徴収を委託されておりますが、

①町では毎年、漁港利用料を徴収するため現地調査をおこなっており、漁港管理者である北海道・漁業協同組合と共に放置船の実態調査を定期的に行っています。

②船舶等の置き捨てや放置は法律で禁止されており、管理者は災害等で支障が生じるような場合には、復旧、危害防止等の処分を行うことができるとされているため、北海道に対し自然災害や漁業活動に支障がないよう対応をお願いしていきたいです。

③財産は所有者が処分すべきものであり、漁港の利用については北海道が主体的に管理するべきものであることから、町として現段階で処分に対する支援は考えておりません。



川村 明雄 議員

寄付された山林等の利活用構想は 貴重な財産、利活用を目指す

【川村明雄議員】

民有林には、相続人が町内にいない等の理由で長年放置され維持管理が困難な状況が見受けられる。

山林は、まちの財産でもあり寄付されて新しい構想に向かうことは貴重な財産の活用に転換できると思う。

山間での生活利用や建築材、チップ材の生産に始まり、地球温暖化対策や災害対策に至るまで多様な役割を持つている山林は、構想によつてはまちの存命の役割を果たすことも考えられる。

今後山林の寄付は増加していくと思うが、寄付を受けた山林の利活用構想を、ぜひお聞かせ願いたい。

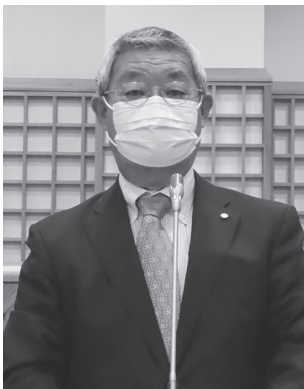
【鳴海青春町長】

森林は木材生産や水源涵^{かん}養、CO₂吸収など多面的機能^{きん}を有しており、当町においては町の面積の約9割を森林が占め、大半が国・道有林で適正に管理されております。

しかし、私有林は、近年の土地利用の変化により、適正に管理されていない山林が多くなっています。

このような背景から、私が町長に就任して以降は、維持管理が行き届かない問題等の発生を未然に防止する観点から、町有財産として管理するよう寄付を受け付けています。

成長した森林を町では貴重な財産と位置付け、新たな吉岡温泉建設に向けて、木質チップをボイラーの熱源とする検討を進めるなど、森林資源の循環による再生可能な資本として持続可能な利用を目指します。



平沼 昌平 議員

地域包括ケアシステム構築の方向性は 現在の介護サービス体制を維持

【平沼昌平議員】

高齢化が進む日本において、地域によって高齢化の状況とそれに伴う介護需要が異なり、地域の実情に合わせた地域包括ケアシステムを進化・推進していくことが重要と考えるが、次の点について伺う。

①全国的な課題に対応するため今後はサービスを増やすだけでなく、どのサービスを重点的に充実させていくかが重要になると考えるが、当町の方向性は。

②介護サービスの選択に当たっては、地域特性を生かした取り組みを進める必要があると考えるが、町として地域包括支援センターと民間介護事業者をどの様に位置付け、三師会を含めた自立支援と重度化防止に向けた取組・連携をどの様に進めていくのか。

③介護離職者ゼロを目指すための町の方策は。

【鳴海青春町長】

町では、国の方針を受けて、医療機関・介護事業所・地域包括支援センターなどが連携し、段階的に地域包括ケアシステムの構築を行っております。

①介護サービスの方向性については、現在、各介護事業者が提供している在宅・通所・施設サービスの充実を図りながら、当分の間はこの体制を維持していきたいと考えています。

②三師会・町内事業者との連携の在り方については、定期的な地域ケア会議や介護運営協議会を通じて情報共有しながら課題解決に向け事業展開を図っていきます。

③介護離職者ゼロを目指す取り組みについては、国や道において給与等の処遇改善や外国人介護人材の受入等の対策を実施しており、当町でも介護事業所等と協議を進め、外国人介護人材確保に向けた作業が必要と考えています。

各議案の審議結果

・賛成が○、反対は×、欠席は欠と表示
・溝部幸基議長は採決には加わりません。

会議名	議案番号	議 案 名	花田	佐藤	平沼	木村	川村	杉村	藤山	小野	平野	審査結果
12月 会議 (12/8)	28	岩部地区交流センター管理条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案 可決
	29	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	30	特定教育・保育施設・特定地域型保育事業等の 運営基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	31	国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	32	第5次総合計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	33	特定漁港整備事業に伴う公有水面の埋立て	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	34	一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	35	国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	36	介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	37	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	38	浄化槽整備特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	39	国民健康保険診療所特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	40	水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	報告6	議会一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告	※採決はありません								欠	報告 済み
	発委6	水産漁業被害の支援策を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	原案 可決

◇ 会議等出席状況 ◇

12月から1月までの出席状況をお知らせします。
「○」は出席、「×」は欠席、「―」は出席不要・任意、「◎」
は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠、「職」は正
副議長の職務出席を表しています。

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	花田	佐藤	平沼	木村	川村	杉村	藤山	小野	平野	溝部
R 3. 12月 1 日	一般質問通告	―	―	○	―	○	―	○	○	―	職
	議会運営委員会（12月会議の運営）	○	○	○	―	○	―	―	○	職	職
3	総務教育・経済福祉常任委員会意見書手交	―	○	―	―	○	―	―	―	○	○
	渡島西部広域事務組合議会第3回定例会	―	○	―	―	―	○	―	―	―	○
4	青少年の主張大会	―	―	―	―	―	―	―	―	○	△
6	定例会12月会議勉強会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務教育常任委員会（意見書の採択）	○	―	―	○	○	○	―	―	○	○
8	定例会12月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
	議会運営委員会（12月会議反省事項）	○	○	○	―	○	―	―	○	△	職
16	広報・公聴常任委員会（漁協青年部との懇談会）	―	○	×	―	―	―	○	○	○	○
17	広報・公聴常任委員会（漁協女性部との懇談会）	―	○	×	―	―	―	○	○	○	○
R 4. 1 月 4 日	消防団出初式	―	○	○	―	○	○	○	○	○	○
6	新年交礼会	―	○	○	―	○	○	○	○	○	○
14	タブレット利用者講習会	―	○	○	―	○	○	○	○	○	○
19	議会運営委員会（議会だより編集）	×	○	○	―	○	―	―	○	職	職
25	渡島西部四町議会議員連絡協議会理事会	×	―	○	―	―	―	―	―	○	○
26	町内会連合会総会	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○
27	渡島町村議会議長会定期総会（函館市）	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○
31	議会運営委員会（1月会議の運営）	○	○	○	―	○	―	―	○	職	職
	定例会1月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（1月会議反省事項）	○	○	○	―	○	―	―	○	職	職

道立福島商業高等学校の魅力化について

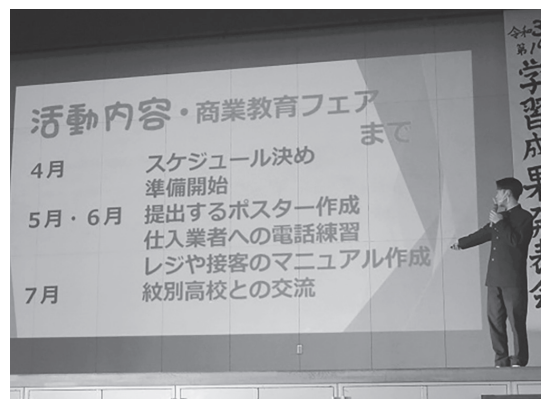
【論点と意見】

青少年交流センター建設事業費の抑制と、資格支援助成事業の拡大を！

1 高校の魅力化の基本的な考え方

(1) クラブ・部活動への支援

町外から生徒を呼び込むに当たって、クラブ・部活動への積極的支援を学校の魅力化に取り入れるべきと思慮するが、現在の福島商業高校の生徒数では、チームプレーの部活動は難しい状況にある。在校生からの聞き取り調査では、現在の商業クラブの活動に魅力を感じているとの回答もあり、吹奏楽部を含め、現状の部活動に対する支援強化の検討を願いたい。



12/17 福島商業高校学習成果発表会の様子

(2) 大学との連携

今年度実施した函館大学での模擬講義受講等による連携は、全国募集をしていく上で大きな魅力になると考える。来年度は、公立みらい大学とITC教育推進の連携も検討しているが、小中学生にも及ぶ人材育成に繋がる対策であり、早急に大学等に出向き協議を進められたい。

2 令和4年度の高校魅力化に向けた支援策について

(1) 福島町青少年交流・人材育成拠点施設整備事業

① 建設工事費

世界的木材不足等による建設資材高騰で、建設工事費が当初見込みの2億5千万円程度が3億円程度と、5千万円の増額見通しとなっているが、設計委託業者と充分協議し、事業費抑制等に向け慎重に進められたい。

② 施設の管理運営

施設を利用する生徒が安心して高校生活を送るための生活指導と人材育成の役割を担う職員として、「学校支援コーディネーター兼ハウスマスター」を常駐させる予定であるが、女子生徒の利用も想定されており、夜間の生活指導やセキュリティ対策の強化・充実を強く望む。

(2) 令和4年度の高校魅力化に向けた支援策

① オープンキャンパス参加促進事業

高校が開催するオープンキャンパスの参加者10組20人に対し、旅費交通費として1人5万円を上限に助成する計画だが、予定組数を超えた場合は、上限を設けず補正等で対応する事も検討されたい。

② 資格支援助成事業

現在の資格取得に係る検定料助成は合格者を対象としており、不合格者には助成していないが、1回目は受験者全員に助成するなど事業内容の見直しを検討されたい。

岩部クルーズ運航事業・両記念館の指定管理者制度導入について

【論点と意見】

指定管理者の努力で得た収益の取扱いを明確に！

1 岩部クルーズ運航事業の指定管理者制度導入に理解

(1) 指定管理料試算

目標とする出航率は、平均出航率43.9%を上回る45～50%が適切と思慮する。

目標を超えて得た乗船料等の収益については、利用料金制度のインセンティブ（※）付与として、指定管理者の収入増加を明確にするなど受託事業者の努力メリットの確保を検討願いたい。

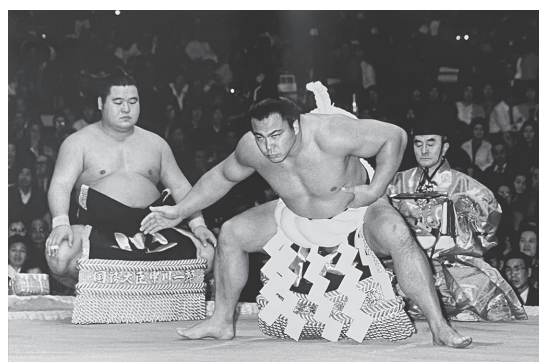
※インセンティブとは？

- ・収益を上げるための企業努力
- ・成果報酬

2 横綱記念館・青函トンネル記念館業務体制の現状維持に理解

両記念館は、顕彰的施設として町民の誇りとなっている。

施設運営の考え方として、現役力士に縁のある町の記念館、第2青函トンネル構想の発信拠点として躍動感のある展示等、入館者増と知名度増の相乗効果が見込める取組みを検討されたい。



横綱土俵入り「第58代横綱 千代の富士」

簡易水道事業における水道料金の見直しについて

【論点と意見】

家事用基本料金を細分化することは理解。引き続き水道料金全般の見直しを進められたい！

(1) 利益剰余金の有効活用

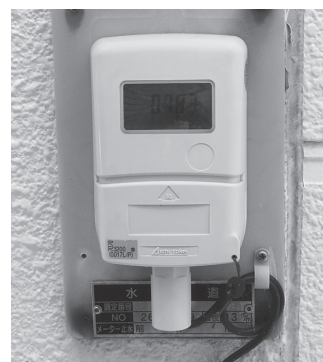
料金改定に伴う減収分の補填は、利益剰余金（積立）を使用し、料金改定の影響を最小限に抑えるとしているが、利益剰余金の取扱いについて適正な運用に努められたい。

(2) 水道料金の全体見直し

今回の水道料金見直しは、使用水量の少ない高齢者等に配慮した政策的見直しであったが、本来的には、前回改正から25年以上経過し、町内の水道の使用実態も大幅に変わっている状況から、家事用だけでなく料金体系全般の見直しをするべきであったと思慮する。引き続き用途別利用状況の把握や水道事業経営等の改善に努め、水道料金全般の見直しについて、更に検討を進められたい。

【調査概要】調査事件7 R 3.11.5開催

平成30年度調査で「基本料に達していない世帯の不公平感解消等、水道料金全体の見直しが必要」とした事項について、調査しました。



福島町の水道メーター器

家庭ごみ減量化対策の在り方について

【調査概要】 調査事件8 R 3.11.22開催
家庭ごみの処理量は、人口減少に反して増加傾向にあることから、調査しました。

【論点と意見】 ごみ処理費用は、目に見えづらい町民負担！

1 視点を変えた周知方法の検討

従来から、生ごみの「ひとしぼり運動」や「コンポストによる堆肥化」等を進めてきたが、取り組みが停滞し、令和2年度の人口1人当たり排出量は増加し、管内1位（321㌦：17,655円）となっている。
ごみ減量化推進員や町内会と協力して、改めてごみ減量化の周知徹底を図りたい。ごみ処理費用は目に見えづらい町民負担であり、節減を分かりやすく町民に周知することが必要であると思慮する。



令和2年度に更新されたゴミ収集車

社会福祉協議会の財政健全化計画について

【調査概要】 調査事件12 R 3.11.22開催
令和3年8月の調査で「経営健全化の検証等が不十分、町支援の追加補正の再考を望む」とした事項について、その後の取り組み等を調査しました。

【論点と意見】

協議会支援の必要性は理解するが、経営健全化計画の再検証を強く望む！

1 経営健全化計画の見直し等

町は、協議会に委託している安心生活創造事業・福祉センター管理料の積算内容等の見直し検討が必要と考える。

協議会は、介護保険事業所維持のための専門家の分析等が必要と推察する。過疎少子高齢化が急激に進み、対象者が減少する状況下であり、抜本的に介護事業の在り方を検証しなければならないと思慮する。



福祉センター内の社会福祉協議会事務局

2 総括意見

社会福祉協議会については、以前から町と協議会の情報共有の重要性和、役職員の危機意識の希薄さについて指摘しているが、今回提出された資料についても協議会の役員会等を通していない等、本末転倒の状況であり、前回の所管調査報告書の指摘事項について社協として充分検討したとは言い難く、依然として意識の改善が見られないことから、改めてその点について強く指摘する。

協議会は、社会福祉法人として自主財源を確保し持続可能な事業を継続・運営することが原則であり、町は、協議会の自主性・主体性に配慮しつつ、連携を強化し、指導・助言する立場にある。

吉岡温泉建設に向けて木質バイオマスボイラー導入自治体等を視察

厚沢部町【上里温泉】

燃料となる木材チップは、夏場は乾燥するが、冬場は乾燥が進まずトラブルが多い！

○生チップと含水率

杉・トドマツなどの水分が多い木質チップはトラブルの原因になるため、カラマツの木質チップを主に納入してもらっている。

業者が木質チップの含水率^{がんすいりつ}を調べて納入し、管理人も工夫しながら対応しているが、2～3ヶ月に1回トラブルが発生している。

【視察概要】 R 3.11.17開催

吉岡温泉の建て替え基本計画において、熱源を重油ボイラーから木質バイオマスボイラーへ変更する旨の提案があり、実際の運用について導入している町の視察をしました。



上里温泉の木質チップ堆積場視察（厚沢部町）

知内町【役場庁舎ほか公共施設】

黒字経営で指定管理料0円！
含水率^{がんすいりつ}証明書を添付して木質チップを納入！

○森林組合に指定管理委任

木質バイオマスボイラー導入前に町と森林組合で収支計画を事前協議し、指定管理料がなくても黒字経営が見込めることを確認し導入された。森林組合が未利用材の購入、乾燥、破碎^{がんすいりつ}、含水率の確認をし、含水率50%以下の証明書を添付し町へ木質チップを納入している。

森林組合では道内外発電所や近隣自治体への木質チップの販売、ストーブ用の薪の販売も行っている。



バイオマスボイラーの燃料になる木質チップ



木質チップ燃料製造施設視察（知内町）

千軒地区【安岡建設工業(株)施設】

家屋の解体材や支障木などの産業廃棄物も破碎し燃料として活用！

○木質チップの状況

伐採後の未利用材を野ざらしで1年半程度乾燥させた後、破碎し、整備した施設に一時保管している。木質チップは道内外のバイオマス発電所や関連業者へ納入している。



千軒地区の木くず再生プラント視察

渡島西部四町議会議員連絡協議会視察研修レポート

福島県伊達市視察：元気づくりシステム、防災対策

渡島西部四町議会議員連絡協議会による視察研修については、昨年度は新型コロナの影響から中止しておりましたが、緊急事態宣言が解除された後、11月8日(月)から10日(水)の日程で、松前町の伊藤議長を団長とした総勢21名が福島県伊達市において視察研修を行いました。

当町からは、杉村志朗議員・藤山大議員・平野隆雄副議長が参加しました。



説明を受ける議員（伊達市役所）

11月9日(火) 福島県伊達市役所 【元気づくりシステム・防災対策】

伊達市では、平成26年度に（一社）元気づくり大学の「元気づくりシステム」を活用した「元気づくりの会」を導入し効果を上げており、実施に至る経緯や課題等について説明を受けました。

同市は、令和元年10月に発生した東日本台風により甚大な被害を受け、地域防災計画の見直しや様々な防災対策を講じており、その内容についても説明を受けました。

11月9日(火) まちの駅やながわ 【現地視察】

伊達市では、令和元年東日本台風で広範囲にわたる浸水被害を受けた後、市内10箇所に市民が自由に持ち出し可能な「土のうステーション」を設置しており、そのうちの「まちの駅やながわ」にて、当時の状況や被災後の取り組みについて説明を受けました。



まちの駅の説明を受ける議員（梁川地区）



二本松城跡、二本松少年隊群像前での記念撮影

11月10日(水) 福島県二本松市 【国の史跡に指定されている二本松城跡を視察】

室町時代に築城され、日本百名城にも数えられる二本松城を視察しました。城門前には戊辰戦争において幕府軍として戦った「二本松少年隊（12歳から17歳で編成）」群像が設置され、中では菊人形展が開催されておりました。

【調査概要】 R 3.11.11・12開催

商工会青年部・女性部との懇談会について

【現状と課題】 「地元を知る・楽しむ」ための事業を検討したい！

1 商工会青年部との懇談

(1) 青年部の現状と課題

令和2年度はコロナ禍で横綱ビーチでの「青年部海の家・やるべ福島イカまつり出店」が中止、令和3年度もイカまつり中止のなか、新たな事業として「イワナの塩焼き、山菜の販売」を実施し大好評でした。

(2) 新たなまちづくりへの参加

福島町には良いところが沢山あるのに、多くの町民があまり知らないと感じることがあるので、「地元を知る・楽しむ」ための事業を検討したい。

- ① 岩部ビレッジ計画
- ② 千軒岳登山大会の復活、地元ガイドの育成
- ③ 全国的に流行となっているキャンプができる場所の検討



2 商工会女性部との懇談

(1) 町・議会に対する要望

- ① 全道商工会女性部の「おもてなし交流」に参加し、互いの町のPRや事業の実施方法等を学びたいと考えている。町有バスの使用について相談したい。
- ② もっと議員の皆さんが、「にぎわい夏まつり」等の会場を訪れ、町民の方々と親しく懇談し、女性部員や青年部員にも声をかけ激励してほしい。

(2) 議会参画について

七飯町では商工会の女性部長が女性議員になっており、女性の視点も必要だということは理解している。

定数については色々な考えはあると思うが、議会の活動の幅が狭まるので、議員の数は減らすべきではないと考える。



【調査概要】 R 3.12.16・17開催

福島吉岡漁業協同組合青年部・女性部との懇談会について

【現状と課題】 夏の養殖昆布漁、人手不足に危機感！

1 福島吉岡漁業協同組合青年部との懇談

(1) 養殖昆布の品質維持

養殖昆布業を続けていき、現在の製品の品質を維持するためには、バイトの人数確保が重要だ。バイトを確保できなければ、養殖昆布はやめなければならないのではないかな。

(2) 定住対策

- ① 町を離れた若い人や町外の若い人を、「福島に行ってみたい」と思わせる対策を町が講じなければ、人口は増えない。
- ② 保育料等の無料化はありがたいが、福島に就職する場所がないと、高校卒業までの18年間金銭面で優遇していた子ども達は福島を出て行ってしまう。
- ③ 今まで関心がなかったなので、議会を見ていなかった。



吉岡地区青年部



福島地区青年部

2 福島吉岡漁業協同組合女性部との懇談

(1) 後継者対策

- ① 昔は漁師に嫁ぐと女性部加入は当然と思っていたが、今の若い人（息子の嫁）は別の仕事を持っており、女性部加入を強く求めることができない。
- ② 吉岡地区の部員の3分の1は、漁業に従事していない方（マリンメイト）である。吉岡地区には20代・30代の若い人自体が少なく、いても子育て中なので声掛けはしていない。

(2) 昆布養殖の人手不足対策

養殖昆布漁業者は高齢化しているが、バイトも同じ状態になっている。

新しい人を探しても、夏場の一時雇用のため、なかなか人が集まらない。

人手不足については個人で考える事ではなく、町で考えてもらうことはできないか。後継者のためにも、考えてほしい。組合と議員でも相談してほしい。



吉岡地区女性部



福島地区女性部

町民と議員との懇談会を開催します

～みなさんのお話を聞かせてください～



昨年の懇談会の様子

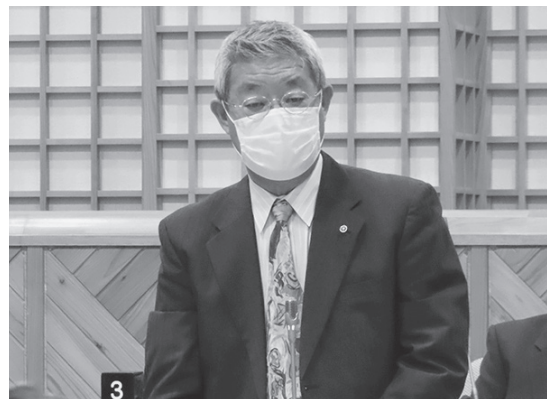


○町民と議員との懇談会日程

開催日	町内会	会場	出席議員
2 / 1 (火) 午後6時～	松浦・吉野	松浦・吉野町内会館	平沼、木村、小鹿
	館崎1・2・3	吉岡総合センター	川村、花田、藤山、平野
	豊浜・宮歌	宮歌・豊浜町内会館	佐藤、杉村、溝部
2 / 2 (水) 午後6時～	吉岡1・2・3	吉岡総合センター	平沼、木村、小鹿
	白符	白符ふれあいセンター	川村、花田、藤山、平野
	上町・本町・川原町	役場（機能回復室）	佐藤、杉村、溝部
2 / 3 (木) 午後6時～	日向1・2・3	日向生活館	平沼、木村、小鹿
	吉田町・館古	役場（機能回復室）	川村、花田、藤山、平野
	新栄町	新栄町集会所	佐藤、杉村、溝部
2 / 4 (金) 午後6時～	月崎2	月崎母と子の家	平沼、木村、小鹿
	丸山団地	丸山コミュニティセンター	川村、花田、藤山、平野
	月崎1	浜中母と子の家	佐藤、杉村、溝部
2 / 7 (月) 午後6時～	浦和・岩部	浦和生活館	平沼、木村、小鹿
	緑町	緑町母と子の家	川村、花田、藤山、平野
	塩釜	塩釜町内会館	佐藤、杉村、溝部
2 / 8 (火) 午後6時～	三岳1	三岳母と子の家	平沼、木村、小鹿
	三岳2	三岳2町内会館	川村、花田、藤山、平野
	千軒	千軒活性化センター	佐藤、杉村、溝部

夜間議会を開催します

～議会を議場で見てみませんか？～



昨年の夜間議会の様子（R3.3.8）

日時：3月8日(火) 午後6時～午後9時

場所：役場3階 議場

内容：一般質問 ※議員が町の一般事務について質問すること。

参画手続きは必要ありません!!

令和元年度より、名簿に名前を書く等の手続きはなくなりました。

**議会ホームページ・役場1階ロビーでも
ご覧になれます!!**

○議会HP <http://www.gikai-fukushima-hokkaido.jp/>

(リンク先) 福島町HP <http://www.town.fukushima.hokkaido.jp/>

町民の声

在宅医療



やまゆくりクリニック
光銭 健三 医師
こうせん けんぞう

医師不足の地域で働くことを希望して福島町に移住してから早三年半。少しは町民の役に立てているのだろうか。

最近では函館での急性期治療を終えた後の在宅医療の依頼が増えている。中には胃腸や気管のチューブ交換、酸素療法などが必要とする患者様もいらっしゃる。

私は大学病院と木古内町の診療所で勤務した経験を生かして様々な状態の患者様に対応しているが、在宅医療を安全に行うには診療所スタッフだけでなく保健師、ケアマネージャー、ホームヘルパーなど多職種の連携が欠かせない。特にいつも患者様と接するヘルパーさんからの迅速な情報提供は有り難い。住み慣れた町で暮らしたいという患者様の思いに寄り添って、これからも在宅医療に取り組んでいきたい。

議員の雑感

異常気象に思う



経済福祉常任委員長
佐藤 孝男
さとう たけお

地球温暖化による異常気象の影響で、昨年1月には、本州北陸地方で記録的な豪雪や短時間で予想もつかぬ大雨が降ったり、最近ではアメリカで最大級の竜巻が発生、9月には北海道道東を中心に海水温の上昇で赤潮が大発生し、漁業被害も国内最悪の、81億9千万円以上となっております。

地球温暖化の要因は二酸化炭素の排出量の多さです。11月には、国連気候変動会議（COP26）において、気温上昇を1.5℃に抑制する努力目標が採択されました。日本においても石炭火力発電所が問題化されておりま

す。今、私たちができることは、豊かな海にするためにも、山に植樹をしたり、海をきれいにするなど、小さなことでも継続することが必要ではないでしょうか。

議会の主な会議・行事予定

※変更・追加となる場合があります。

2月1日(火)～8日(火)	町民と議員との懇談会	午後6時～各町内会館等
9日(水)	木古内町議会改革特別委員会視察受入	午前10時～議員控室
10日(木)	渡島廃棄物処理広域連合議会第1回定例会	午後2時～北斗市
17日(木)	渡島西部四町議会議員連絡協議会総会・研修会	午後3時～松前町
25日(金)	渡島西部広域事務組合議会第1回定例会	午後2時～議会議場
3月1日(火)	一般質問通告	午前10時～午後2時
	議会運営委員会（定例会3月会議の運営）	午後3時～委員会室
4日(金)	定例会3月会議勉強会	午後1時30分～議員控室
8日(火)～16日(水)	定例会3月会議	午前10時～議会議場
8日(火)	夜間議会（一般質問）	午後6時～議会議場

編集後記

年末から続いた厳しい冷え込みで雪かきから始まった新年でしたが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。国ではデジタル庁が足、マイナンバーカードをはじめ様々なものがデジタル化されてまいります。

福島町議会も令和元年度からスマートフォンでライブ中継が見られるようになっておりますし、タブレット端末も昨年12月に導入しましたので、さらに議会の情報を積極的に発信してまいります。今年も一年よろしくお願いたします。

次回（令和4年6月1日発行）は、3月会議を中心として、各議員の新年度の目標（公約）を紹介する予定です。



北方領土返還要求運動
シンボル「千島桜」